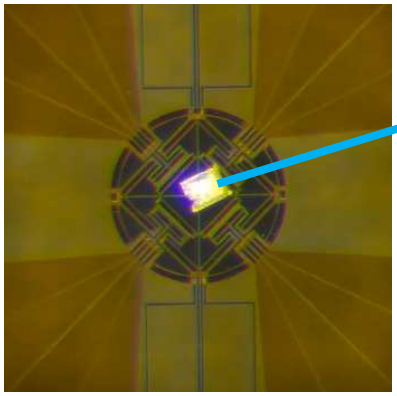
超高速示差走査型熱量計
(Flash DSC)

1．装置の機能・特徴

温度に対する相転移（溶融、結晶化など）や化学反応の応答を定量的に評価する装置。高感度かつ時定数の非常に短いセンサを使用し、通常のDSCよりも4ケタ以上早い速度で昇降温が可能。





測定部の顕微鏡画像
(～数百ngの試料で測定)

2．主な仕様

型式　　：Flash DSC 2+
メーカー　：METTLER TOLEDO社（スイス）
標準(UFS)と高温(UFH)タイプの2種類のチップセンサが使用可能
測定温度範囲　　：-95～420℃(UFS)、-95～1,000℃(UFH)
昇温速度：0.1～4,0×10^3K/s(UFS)、0.1～4,0×10^4K/s(UFH)
降温速度：0.1～4,0×10^4K/s(UFS)、0.1～5,0×10^4K/s(UFH)
サンプリング間隔　　：10kHz以上

※本装置は「内閣府　地方大学・地域産業創生交付金」事業により導入しました。